

校長だより

校長 淀 廣治

保護者の皆様へ

夏休みはどのように過ごされましたか。今年の夏は特に暑かったですね。お子様は頑張っていたようですか。始業式の様子から見ると、生徒たちはすごく頑張ったように思います。そして成長したように思います。1学期の終業式から一ヶ月しか経っていませんが**随分大人っぽく**なって**頼もしく**感じられます。学校生活とは異なったご家庭での新たな経験や体験の中で、きっと自分なりに**頑張っていた**からだと思います。今年の夏の猛暑はすごかったですね。でも、いつの間にか涼しい日を感じられるようになってきましたが、まだまだ残暑が厳しいですので体調には十分気をつけてください。

夏期休暇中の先生は…

講習のあった**3年生**の先生方や**6年一貫**コースの先生方、**英数発展**コースの先生方は**お盆休み**が数日あっただけでしたね。又、夏休み期間中も2学期からの授業の準備や教材研究に多くの先生方が頑張っていました。**クラブ顧問**の先生は、ほとんど毎日**クラブ指導**や**試合**、**発表会**、**コンクール**で忙しい日々を過ごされていました。

また、私学ですので教員全員で**広報活動**もしています。空いた時間に塾に本校の教育方針(コースの特色など)を説明に回っていただきました。何よりも生徒たちが**楽しく充実した学園生活**を送ってくれることを目的に教師陣が頑張っていることを塾の先生に伝えてもらいました。そして、将来子供たちが**幸せな人生**を送れるように、**社会に貢献できる人材**に育つように教育していることを伝えてもらいました。

今、先生たちは…

今(8月28日)、先生たちは夏休みの宿題のチェックに追われています。生徒のみなさんが一生懸命やった宿題ですので気持ちを込めてチェックしています。国語の先生は漢字テストの採点に追われています。また、31日(土)に行います入試説明会・体験授業の準備に余念がありません。9月には体育会・ニュージーランドの訪日団来校や文化祭の準備など非常に忙しい日々が続きます。先生方は勿論生徒たちの頭の切り替えの素晴らしさにはいつも驚かされています。切り替えというより同時進行していると言った方が適切ですね。素晴らしい。

PTAバザーの協力ありがとうございます

保護者の皆様には文化祭でのバザーの品物を沢山寄贈していただき非常に感謝しております。暑い中わざわざ持ってきていただいて本当に恐縮しています。まだまだ受け付けていますので、よろしくお願ひ致します。

品物の値打ちがわかりにくいものは役員さんにお教えいただけたらと思います。

本当にありがとうございました。生徒も先生も楽しみにしています。



文化祭PTAのゲームコーナーが楽しみです

保護者の皆様が計画しておられる文化祭2日目のPTAゲームコーナーを生徒たちは楽しみにしています。PTAの方の準備が早くて、我々教師の方が少し焦っています。毎年お忙しい中、生徒たちのためにご協力していただき有難うございます。文化祭が大いに盛り上がります。

写真は以前のものです



同窓会の模擬店も楽しみです。

文化祭二日目（日）に同窓会のみなさんが、毎年模擬店を開いてくれています。お昼休みに生徒が大勢食べに来るので大変です。夏休みから計画、準備していただいています。今年卒業した先輩達も大勢手伝いに来てくれます。有り難いことです。



8月に同窓会幹事会が開かれ模擬店へ向けて話し合いをしています。

「口は達者だが身体が動かん」と言っておられる方もいらっしゃいましたが、まだまだお元気な様子でした。若い同窓生も模擬店開催に向けてご協力をお願い致します。

子供の成長を実感できる2学期が始まります

2学期は多くの行事を通して子供たちの成長が実感できる学期です。体育会や文化祭で実感していただければと思っています。生徒たちは行事を通して教室での授業では学べない、人間として大切な多くの事を学んでいきます。発表に至るまでの練習や創意工夫を通して「思いやる心・協力する心・我慢する心」などの心の勉強をしています。学んだ知識も鍛え上げた身体も使いこなす能力が身につけていないと役に立ちません。どのような方向に使うかを決めるのは心です。行事を通じて、その使いこなす能力と方向性を決める心が養われると考えています。「テストで点数を取るための勉強以外に時間を割くべきではない」との考え方もありますが、本校では行事に全力で取り組むことによって、将来役に立つ自主性や心が養われると考えて積極的に進んでいます。体育会、文化祭などでの発表に向けてのお子様たちの努力を認めて誉めてあげて下さい。次への飛躍につながると思います。よろしくお願いいたします。

ニュージーランド研修 みんな元気に帰国しました。

7月31日～8月15日 すぐにホストファミリーと仲良しになりました。



楽しい行事がいっぱいです。



アツと言う間に研修が終わってしまいました。親切にいただいた皆さん、本当に有難うございました。

ニュージーランド訪日団が9月26日(木)に来日します。

生徒24名と先生3名が来日いたします。学校の中が国際色豊かな日常に変化します。子供達は異文化に接することを楽しみにしています。24家庭のホストファミリーをお引き受けくださった保護者・ご家庭の皆様には深く感謝いたします。本当に有難うございます。宜しく願いいたします。

NZの先生たちも生徒達も、ものすごくパワフルで私はいつも圧倒されています。文化祭の1日目(10月5日)の発表の部(午前中)にNZの生徒たちが参加してくれる予定ですので、楽しみにしてください。

去年の写真です



中高6年一貫コースの取り組みです。

京大見学 7月23日

京大で教授より講義を受ける。漢字博士の阿辻教授 みんな真剣です こんなことまでやってしまいました



食堂で休憩です(一足先に京大生気分)
学園の食堂とどっちがおいしいですか?



京大生に勉強のやり方や学部選択などの生の声をインタビューしたりアンケートをとったりしました。勿論、発表して自分たちの学習に役立ってます。

夏期勉強合宿 頑張りました。(8月19日～20日)

(6年一貫の生徒諸君へ)

みんなで一緒に頑張ることで、今までとてもできないと思っていたことができるようになります。勉強合宿は**自分の限界を超えた新しい自分**を発見できる、とても良い機会になったと思います。友達と競い合い・励ましあい、信頼し合うことにより、自分自身は勿論、**互いに高めあう**ことができます。次元の高い友情を築くことができます。この二泊三日が**大きな飛躍への一歩**になったと確信しています。次の一歩はあなた自身が築き上げていかなければなりません。頑張ってください。一緒に頑張った友達へ、機会を与えてくれた保護者の方、そして導いてくれた先生方へ**感謝の気持ち**を忘れないようにしてください。そして頑張った自分を褒めてあげてください。

今年は学問の都、京都での合宿です。鍛えられた上級生の**集中力**は違いますね。



良かったところや反省点をお互いに発表することにより、より充実したレベルの高い勉強合宿になるようにしています。

⑩先生たちはほとんど寝ていないようです。しっかり勉強して早く合格して先生を寝かせてあげてくださいね。

大阪大学と大阪大学付属病院に行ってきました

先頭に立って案内してくださっているのは、われらがスーパーアドバイザー 吉川病院長です。



院長室まで入れました

優しく説明も受けました



2学期の始業式でのお話

(抜粋)今年の夏は**計画的**に有意義な夏休みを過ごしてくれたと思います。もし、**もっと出来たの**にと思っている人は、必ず冬休みには出来るように工夫してください。4000 本安打を達成した**イチロー選手**は、こんなことを言っています。「**失敗や悔しさにどれだけ真剣に立ち向かえるかが、その人の人生を決める**」失敗は宝物です。ピンチはチャンスです。是非頑張ってください。

夏休み先生が家の書棚の整理をしていると、**懐かしい本**が出てきました。どんな本かというと「わがいのち月明に燃ゆ」という本です。内容は特攻隊員として、22歳の若さで戦死された林 尹夫という**京大生の日記**です。先生は高校生の時にこの本に出逢って非常に**ショック**を受けました。林さんは高校生の時に独学で英語・ドイツ語・フランス語をマスターして膨大な量の哲学書や専門書・文学書などの**原書を読破**していました。そして日記には戦争と自分の考え方や信念の中で苦悩し、葛藤している様子が描かれていました。「**生きて、みんなのために働きたい**」と悩み続けていた様子が書かれています。そんな彼が**死の前夜**(出撃に行く前の日)に書いた手紙にこんな文があります。「**おかあさん、あなたは『私が学校を出たら、一緒に京都で暮らしたい。』とよく言っておられましたね。お母さん、今となっては世の大きな波の変動に流され、わたしと暮らす望みもなくなりました。ああ、あなたは一体、過去の何を糧として、残りの生活を送られるのですか。老いし母よ。愛に隔たれし親よ。私はあなたが気の毒でたまりません…**」という手紙です。自分が死に赴く時にお母さんに対してのいたわりの気持ちをつづった手紙です。先生は「もし、自分がその時代に生きていたらどうだろうか」と高校の時に思い悩んだことを覚えています。日本は今、平和な時代ですがそんな時だからこそ、一人一人が平和について考えることが大切だと思います。今の平和な日本は、平和な時代が来ることを望みながら亡くなった多くの人たちの上に築かれたものです。平和な世の中は**努力なしでは作れない**し、維持することも出来ないと思います。平和な時代は当たり前のことではないのです。**戦争は人間が起こすことです。人間が起こすことなら、人間が止める事が出来ると思います**。今エジプトやシリアで紛争が起こっています。先生は武器を持たない無抵抗な人を攻撃することなど考えられないのですが、紛争や戦争ではそれが当たり前のように行なわれています。悲惨なことです。人は感情や利害・宗教や考え方の違いによって**不幸な戦争**を繰り返してきました。先生は少なくとも、世界中の指導者が同じ正義感や倫理観を持っていれば、もっと争いは少なくなると思います。先生は教育や思想、そして抑止力で世界を平和に向かわせることは出来ると思っています。他の国や、人を**批判するような教育**や洗脳ではなくて、お互いに**理解し解決策を模索する**ような考え方が大切だと思っています。もちろん、それだけで平和が維持できるとは思っていませんが、皆さんも自分や自分の子供達の未来のために、平和について考えてみてください。

2学期は皆さんが待ちに待った学校の2大行事 **体育会・文化祭**があります。これらの行事は先輩が後輩に四條
畷学園中学校のすばらしさを伝えることの出来る場でもあります。上級生の一生懸命取り組む姿そのものが、下
級生にとっては憧れであり尊敬すべき姿です。宜しくお願いします。

行事というのは**人間性を磨くチャンス**です。これらの体験や経験を通して、好ましい人間関係・感謝の心・優しい
心・協力する心・我慢する心・ルールを守る心、礼儀作法などを身に付けてほしいと思っています。

先生はそのために大切な事は次の三つだと思います。 **全力で取り組むこと** やるときは全力でやる。**切り替
えができる事** 勉強と行事・クラブの切り替えできる能力を身に着けることです。**協力し、助け合えること** 失敗
や欠点を責めるのではなく、協力し助け合える気持ちを持つことが大切だと思います。学業と行事を両立させ、
実りある第2学期となるように、皆さんの頑張り、より一層の努力を期待しています。

『生徒会サミット』の様子

前期『生徒会サミット』のホスト校は、本校でした。そこで、各校の生徒会が活動内容の報告を
しました。また、交流を持っている南相馬市立原町第三中学校の生徒スローガン
「夢の実現 全力前進」の写真撮影もしました。



インターネットに記載されていたので紹介します。

「よかれ」と思って我が子をダメにする母親の過干渉3種

小学校に入学して以降、子どもが自分の目の届かない範囲で行動することも増えてくるので、「うちの子、大丈夫？」
と心配されているかたも多いことでしょう。でも、「子どものため」を錦の御旗として、子どもの世話を焼き過ぎるの
は、かえって子どものためになりません。親の過干渉は子どもにとってストレスとなり、それが蓄積すると、子の問
題行動につながることもあるとのこと。つまり、子育て熱心な人こそ、「よかれ」と思っの行動が、子どもに悪影響
を及ぼしているおそれがあります。

そこで、子どもをダメにする母親の過干渉な言動3個を教えてくださいました。

■1：子どもの言い分を聞きすぎてモンスター・ペアレント化する

昨年、いじめ自殺問題が大きく報じられたこともあって、「我が子がいじめられたら……」と不安なお母さんも多いはず。たしかに、子どもがいじめの被害に遭ったら、親が子の思いをきちんと受け止めることは大切ですし、状況によっては、親が何らかの行動を起こす必要もあるでしょう。ただ、子ども同士の感情の行き違いによる些細なトラブルまで「いじめ」扱いして、親が首を突っ込んでしまうのは考えものです。

「子どもの言葉を鵜呑みにして、事実関係を確かめずに“うちの子が〇〇ちゃんにいじめられた”と教師、相手保護者、ときには教育委員会まで巻き込んで騒ぎ立てる親がいます。

でも、親がむやみに介入することは、かえって子ども自身の学級内での立場や友人関係などを壊すもとにもなり、子どもに不必要なストレスを与えることにもなりかねません。

まずは子どもの訴えを聞いたうえで、“じゃあどうするか自分で考えてみなさい”と言いましょ。自分で対応策を考えさせることが何より子どもの成長を促します」子どもに限らず、大人であっても、社会生活を営むにおいて、“好き嫌い”だとか“派閥争い”といった人間関係上のトラブルはつきものですね。

“暴力を伴う・金品をゆする”など、常軌を逸している場合は別ですが、小さいさかいにまで親が干渉すると、問題をこじれさせるだけでなく、子どもの成長の芽を摘むことにもなってしまうかもしれません。

■2：子どもに正論をつきつけるばかりで気持ちを汲んでやらない

上では、子どもの言い分を聞き過ぎて過保護に突っ走ることの弊害を述べましたが、逆に、「しつけ」のつもりで、子どもの感情をおさえこむのも問題アリです。「たとえば、子どもが“今日は学校に行きたくないなあ”とか“あの友達、ムカつくんだよ”など学校生活への不満を漏らしたとします。その際、正しいことを子どもに教えなければと思うあまり、“そんなことを言うてはいけません！”と頭ごなしに叱ってしまいがちですが、これは絶対にNG。

子どもは、家庭だからこそ言える本音を漏らしただけ。それなのに、叱責されてしまったのでは、“本音を言うと怒られる”とストレスを感じ、自分のうちにため込むようになります。この場合、“なるほど～行きたくないんだ～”、“そうなんだ、ムカつくんだ”とまずは子どもの言葉を繰り返し、そのあとどうしてその言葉が出るのか、少しずつ会話を重ねるようにしましょ」

■3：子どものことが心配すぎてプライバシーを侵害する

子どもが“お母さんべったり”でなくなり、学校での出来事もあまり話してくれない……となると、「どんな友達と仲良くしているのだろう？」「学校でうまくやってるのかしら？」などと、あれこれ気を揉んでしまいますよね。

でも、“子どものことは何でも把握しておかないと気が済まない”というのは、親の傲慢なのかもしれません。

「“子どものことが心配なんです”を振りかざして子どもの人権を踏みにじっていませんか？ 心配だから子どもの部屋を留守中捜索して引き出しの中をチェックする。心配なので、子どもの携帯はこっそりチェックする。そんなお母さんがいてびっくりします。親に信用されていないことを子どもが実感してしまうと、ストレスだけにとどまらず、自己肯定感が低まり、自分を大切にしない子どもになります。親に隠れて非行に走ったり、リストカットしたりという子の親はこのパターンが多いです」

子どもは親の所有物ではありません。毎日、元気に楽しそうにしているのであればそれでよし。もし、ずっと浮かぬ表情をしている、食欲がない日が続くなど、目に見える異変があれば、「どうしたの？」と直接尋ねればいい話。こそこそ探偵ゴッコをするのは、子どもにとって百害あって一利なしだといえます。

以上、子どもをダメにする母親の過干渉な言動 3 個をお届けしましたがいかがでしたか？ 「子どものため」と言いながら、本当は自分の感情の赴くまま、子どもの気持ちや立場をないがしろにしていないか、よくよく振り返って見る必要がありそうですね。

《私の考え》

小児心理医の先生のご意見はよくわかりますが、本校では「いじめ」に関して気づかれたことがあれば、独自に動かずにすぐに**学校に相談**してください。事実関係を調べてすぐに対処します。子供の**悩んだ心**で対処法を考え出すには幼すぎる場合が多くあります。早く悩みから解放させてあげ、明るい未来に向けて前進させてあげたいです。

子供の不満を聴いてあげ、気持ちを汲み取ってあげてから、自分の意見を伝える事には賛成です。なかなか難しいです。私は家庭での約束事[家訓]を破った場合は頭ごなしに叱っても良いと思います。

子どもは親の所有物ではありませんが、親の保護の下に置かれていることを認めさせることは必要です。子供であっても**権利を主張する前に義務を遂行**することが大切であることを教えることが必要だと思います。子供部屋のチェックや携帯電話の管理はそれを与えている親の**当然の権利**であり**義務**でもあると私は考えます。子供がそれを理解し、認めていることが前提ですが、チェックすべきだと思います。それができないのであれば、子供部屋も携帯も与えてはいけないと思います。しかし、子供のプライバシーを守ることは必要です。引き出しの中のチェックは少し問題がありますが、日頃から親は私の幸せの事をいつも思ってくれているという**絶対的な信頼関係**を構築しておくことが最も重要であると思います。子供のためだから何をしても良いのではなく、子供が家族が安心して安らげる家庭づくりのために**十分な信頼関係**を築く努力をしなければならないと思います。多少の不満はあっても認め合える、信じ合える、そんな関係があればよいと思います。

夏休み中のクラブの戦績を表彰しました。

(1学期終業式表彰分と2学期始業式に間に合わなかった分は除いています)

クラブ以外の表彰、披露

日本パソコン能力検定委員会主催
 毎日パソコン入力コンクール
 大阪府知事賞

大東市夏季剣道大会
 準優勝 寺

クラブ表彰

書道部		美術部	
毎日新聞社賞	準特選 1名	大阪私学美術展	
特選 2名	金賞 2名	優秀賞 2名 奨励賞 4名	
吹奏楽部	大阪府吹奏楽コンクール北地区大会	金賞	剣道部
			第29回四條畷警察署管内中学校対抗剣道大会 女子個人 3位
陸上競技部	五市中体連夏季陸上競技大会		ソフトボール部
優勝	女子 1年 200m		近畿私立中学校ソフトボール大会 準優勝
優勝	女子 2年 200m		サッカー部
優勝	女子 1年 800m		
優勝	女子 2年 800m		大東市サッカー大会 優勝
優勝	女子 3年 800m		
優勝	女子共通 100mJH		バドミントン部
優勝	女子 2年砲丸投げ		大阪府中学校選手権大会
優勝	女子 2年走り幅跳び		女子団体 優勝 男子団体 準優勝 女子ダブルス 準優勝
優勝	男子 1年 100m		
優勝	男子 2年 800m		男子ダブルス 3位
優勝	男子 2年走り幅跳び		

優勝	男子 3 年砲丸投げ		第 62 回近畿中学校総合体育大会
水泳部	第 52 回 北河内地区水泳競技大会		女子ダブルス3位
優勝	200m平泳		全日本ジュニアバドミントン選手権大会 大阪府予選
優勝	男子 400mリレー		女子シングルス3位
優勝	男子 400m メドレーリレー	柔道部	第 33 回大東市柔道選手権大会 個人戦 3位
		卓球部	大阪私立中学校総合体育大会 女子団体3位



パソコン検定



ソフトボール部



書道部



柔道部



漢字検定



剣道



吹奏楽部



卓球部



陸上競技部



数学検定



美術部



書道部



サッカー部



バドミントン部



水泳部



陸上競技部



ありがとうボックスより

- 休んだ時のノートを見せてくれてありがとう。
- テスト前、友達に勉強を教えてもらいました。ありがとう。
- お母さん、体調が悪い時でも色々してくれてありがとう。
- 先生、気にかけて声をかけてくれてありがとう。頑張ります。
- お弁当 誘ってくれてすごうれしかった。本当にありがとう

いただいたお手紙から抜粋しました。感謝の気持ちが伝わってきて嬉しかったです。

第一回入試説明会



8月31日に実施しました。約360名の方にご参加していただきました。昨年より100名も多く参加者数になりました。ありがとうございました。生徒によるコース説明や質問コーナーなどを通して本校の雰囲気を感じ取っていただけたと思います。体験授業のほうもたくさん参加していただきました。楽しく体験し、時間の経つのが早かったようです。



PTA 役員会 9月4日実施

体育会・文化祭・耐寒OLの任務分担や詳細について話し合われました。
中学校の行事はPTAの皆さんのご協力で支えられていることを実感し、感謝しています。



六年一貫コース

社会人講座 9月4日実施 マックス株式会社 代表取締役 玉井 博文先生
上海万博に出展などロボット分野において日本を牽引する会社の社長さんです。
安部内閣総理大臣も今年、会社を訪れられてるなど注目の会社です。生徒たちに夢の
大切さを教えて下さいました。9月12日(木)10時より6チャンネル報道ステーション
に出演される予定です。



敬老の日 9月16日は敬老の日です

敬老の日は、国民の祝日に関する法律（祝日法、昭和23年7月20日法律第178号）第2条によれば、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」ことを趣旨としている。

2002年（平成14年）までは毎年9月15日を敬老の日としていたが、2001年（平成13年）の祝日法改正いわゆるハッピーマンデー制度の実施によって、2003年（平成15年）からは9月第3月曜日に国民の祝日として「敬老の日」に制定されました。（「こどもの日」「成人の日」があるのに敬老の日がないのはおかしいと声があり）。このため、「母の日」のように日本国外から輸入されたような記念日と違い、日本以外の国にはない。

なお、提唱の町「八千代町」では小中学生が地域の年長者に向けて日々の感謝と敬意を表して手紙を書くという慣習を小学校に導入し、夏休みの宿題として読書感想文と並んで実施されるという誇らしい行

為が行事化されていた。 お年寄りを敬い尊敬することが当たりまえであってほしいですね。